

社会参加促進フェアin 焼津

30年10月13日(土)、焼津文化会館を会場に「社会参加促進フェアin 焼津」が行われました。大ホールでの第1部は、今も身体を鍛えながら野球に携わり続ける村田兆治さんの「人生引退なし」と題した講演。離島を回る野球教室から「全国離島少年野球大会」の開催に至ったお話や、後半には来場の野球経験者の構えた手に用意したボールを見事に投げて見せ、最後は号令を掛けながら、会場の人たちと皆で30回のスクワット。「何事も身体が資本!」「年を気にせず何事も挑戦!」の心意気を見せて頂きました。

続いての第2部は、地域で活動している団体の事例発表です。



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津

山の手未来の会からは、蠟梅や水仙、山の手桜(河津桜)などを使った「花と香りの郷づくり」の様子を。

居場所カフェ里では、地域の老人会解散をきっかけに始めた、男性の参加協力も目立って多いという自慢の居場所活動を。

歌と健康の出前本舗 ごえんだまは、活動していて喜ばれている曲など3曲をステージ上で披露し、楽しませてくれました。

最後のいきいき旅倶楽部では、「まず家から一步出ることが旅の始まり」と捉え、30代から90代までの皆さんの楽しそうな活動が様々報告されました。



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津



社会参画フェア焼津

ホールでの発表が終わると、ホワイエが多くの団体の体験ブースや活動紹介の場になりました。

静岡福祉大学のブースでは、アロマを用いたハンドトリートメントでひと時の癒しの時間が提供され、喜ばれていました。焼津ふまねっとクラブの段階を上げながらのふまネット体験や、シルバー人材センターブースでは脳の若返りトレーニングが行われ、多くの参加が見られました。

また、認知症カフェの紹介ブースや、まだまだシニアには遠いと思える若い世代が活躍している「ももいろ食堂」ブース。子供や独居高齢者の孤食を防ごうという多世代交流の居場所なのですが、その活動紹介やお誘いにとっても魅力を感じ、温かく心強い気持ちになりました。

現在認知症の家族を支えている方や、自身の為にアンテナを張っている方など、多くの方に広く知ってもらいたい活動がたくさんありました。こういう活動が身近にあると知ったら、是非遠慮せずに覗いてみましょうよ。皆さんの参加を笑顔で待っていますよ。

フェアのことや参加団体についてのお問い合わせがあれば、焼津市地域包括ケア推進課 電話054-626-1219までどうぞ。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江